



日本一低い谷中中央分水界のあるまち

生 いくさと 郷

第46号 令和4年10月20日

発行 生郷自治振興会

編集 魅力づくり委員会

Tel/FAX 0795-82-2666

URL : <https://ikusato-js.com/shinko/>



○第36回生郷水分れまつり

第36回生郷水分れまつりが、7月30日に水分れ公園で開催されました。3年ぶりとなる今年度は、公募により出店された店舗、花火大会、多ジャンルの舞台上大いに盛り上がり、ターザン山下さんの名司会のもと無事に終了することが出来ました。開催にあたり、ご賛助いただきました皆様、ご出演団体様、出店店舗様等、すべての皆様に感謝申し上げます。



○生郷塾

児童、生徒がお互いをサポートしあい、学習することを目的に、生郷塾を生郷交流会館で開催しました。約40名の子ども達が夏休みの課題に取り組んでいました。サポートいただきましたボランティアの先生方、有難うございました。



○生郷（ふるさと）音楽祭

8月28日、4団体出演による音楽祭がポップアップホールで開催されました。素晴らしい音色がホール全体に響き渡り盛大な拍手が鳴り響いていました。「たくさんの人の前で演奏するのは緊張するけど、楽しかった。」と子ども達から温かい言葉をいただきました。有難うございました。



東小鼓笛隊



氷上中吹奏楽部



あおぞらカルテット



氷上吹奏楽団

○丹波医療センター環境整備活動



9月17日、丹波医療センターにおいて、今年度2回目となる環境整備活動を行いました。各地域、団体、職員、ボランティアの方が、日頃お世話になっています医療従事者へ感謝の気持ちと敬意をもって活動しました。草刈りを中心に、植木の手入れなど多くの方で作業を行いました。

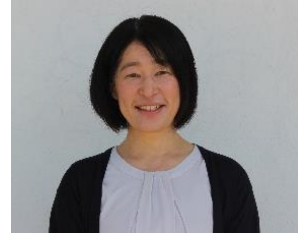
○生郷ふれあい運動会



9月18日、東小学校グラウンドにおいて、「生郷ふれあい運動会」が開催されました。以前は、地区対抗で競い合っておりましたが、今年度は、新たに実行委員会を設け、地域住民が楽しくふれあい、異世代の交流ができるようにプログラムを一新しました。初めての試みで、反省点、改善点もございますが、今後も継続できるように検討を重ねてまいります。多くの方にご参加いただきましたこと、またご協力をいただきました実行委員会をはじめ地域の方々に心よりお礼申し上げます。



生郷の地に育まれて



東小学校 教頭 荻野由香里

「天高く馬肥ゆる秋」 空を見上げるとそんな言葉が浮かぶ、秋の好季節を迎えました。地域の皆さまにおかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃は、学校教育に多大なご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

4月に東小学校の教頭として着任してから半年が経ちました。ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、多くの制限をしながら教育活動を進めてきました。しかし、本年度は「3年ぶりの〇〇」という言葉も多く聞かれるようになり、子どもたちの安全・安心を第一に考えながら少しずつできることが増えつつあります。その分、子どもたちの生き生きとした姿を見る機会も増えてきたことを大変嬉しく思っています。

その一つが鼓笛隊の活動です。今年は第55代鼓笛隊として活動していますが、半世紀以上に渡り脈々と受け継がれていることに地域と学校の力強さを感じます。以前より東小学校の鼓笛隊については、話を聞いておりましたし、演奏を聴かせていただいたこともありました。けれども、東小学校に勤務して実際に感じる姿は想像以上のものでした。毎日の昼休みには様々な楽器の音が聴こえてきます。4月当初はぎこちなかった音が、だんだんと安定した音になり、メロディーとなって奏でられていく様子は、子どもたちの努力と成長が直に伝わってきます。また、「生郷水分れまつり」や「生郷～ふるさと～音楽祭」に招いていただき、ステージに立つ子どもたちの誇らしそうな顔、その姿を温かく、嬉しそうに見てくださる地域の方々には胸が熱くなりました。地域の方々には、鼓笛隊の活動だけでなく、登下校の見守りやクラブ活動の支援、校外学習の支援や学校生活における様々な場面で支えていただいています。東っ子の力強い応援団です。子どもたちが地域に愛されて育っていることを日々感じています。本当にありがとうございます。

社会が大きく変化する中で、子どもたちを取り巻く課題も多岐にわたり、学校だけで解決することが難しい内容も増えてきました。家庭や地域と連携しながら、子どもたちを育てていくことの必要性を強く感じます。生郷地域は、本当に温かく、「子どもたちのためなら」と惜しみなく力を貸して下さり感謝しています。これからも、子どもたちが健やかに伸び伸びと力を伸ばすことができるよう、教職員一同、精いっぱい努めてまいります。地域の皆さまにもこれまで同様、温かく支えていただけると幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

運動会が終わって代休が明けた9月21日（水）、三年生の児童が地域の田んぼで稲刈り体験をしました。5月に田植え体験をさせていただいたときとは、ずいぶん景色が変わっており、「全部刈りたーい！！」と大興奮でした。



稲の持ち方や鎌の使い方を教えていただき、せっせと刈っていきます。刈り取るときには「この感じ、気持ちいい〜〜〜」と言って、小走りで何往復もしていました。普段、当たり前のようにいただいているご飯も、こうした苦労の上に成り立っており、安心して毎日ご飯をいただけるという「食の恵み」が感じられた、貴重な体験となりました。



休み時間に、乾燥させたお米を瓶に入れ、棒で突いて籾殻を取り除いています。「こんなにやったのに、まだ（お米）こんだけ！？」「分けるん大変やなあ」という声も。全部取り除けるまで頑張るようです。まだまだかかりそうです。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。